

JAS・JFS規格の認証支援に向けたモデル実証事業

支援対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・JAS：生産者（個人・個社、団体・協議会）、加工食品事業者（個社、団体）、流通業者 ・JFS：加工食品事業者（個社、団体） 		
対象品目	<ul style="list-style-type: none"> ・JAS：コメ、青果物、肉類、加工品 ・JFS：加工品 		
支援内容類型	<ul style="list-style-type: none"> ・JAS：輸出拡大に向けて農地・生産体制を拡大・強化したい ・JAS：輸出の産地づくりにチャレンジしたいが軌道に乗るまでの諸コストへの支援が欲しい ・JAS：輸出販路開拓に向けて商社・海外バイヤーとマッチングしたい ・JFS：国際的な認証を取得したい 		
支援内容	<p>（ソフト支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAS：有機JAS認証取得への支援 ・JFS：JFS規格のモデル的取得（JFS-AもしくはB又はフードサービス規格の新規取得又はJFS-AからBへのステップアップなど）、セミナー開催等の情報発信への支援 		
申請要件	なし		
申請先	<ul style="list-style-type: none"> ・JAS：（一社）日本農林規格協会 ・JFS：（一財）食品安全マネジメント協会 	公募時期	令和4年2月～（予定）

①JASについて

問合先：農林水産省 新事業・食品産業部 食品製造課 基準認証室

メール：organic_jas2020@maff.go.jp 電話：03-6744-7139

②JFS規格について

問合先：農林水産省 新事業・食品産業部 食品製造課 食品企業行動室

メール：kigyokoudou@maff.go.jp 電話：03-3502-5743

JAS・JFS規格の認証支援に向けたモデル実証事業

【令和3年度補正予算額 60百万円】

<対策のポイント>

本年10月から実施した有機JAS制度の運用改善効果を実証するため、将来の輸出拡大に向けたステップとして**有機JAS認証取得予定者等の認証取得**を支援します。また、国内外の食品安全レベルの向上及び将来の輸出増大に向けたステップとして**JFS規格の認証取得等**や、**取得促進のためのリモート監査導入**を支援します。

<事業目標>

- オーガニック市場を拡大しつつ、耕地面積に占める有機農業の取組面積を25%まで拡大（2050年まで）
- 日本発食品安全管理規格の普及拡大（5,000件 [2022年まで]）

<事業の内容>

1. 有機JASの認証支援に向けたモデル実証事業 30百万円

有機JAS制度の運用改善効果を実証するため、オーガニック市場の拡大や地域単位の有機農業の取組につながる売り先を確保している者やグループ単位で**申請**を行う者について、**将来の輸出拡大に向けたステップ**として**有機JAS認証申請者等**を支援します。

2. JFS規格の認証支援に向けたモデル実証事業 30百万円

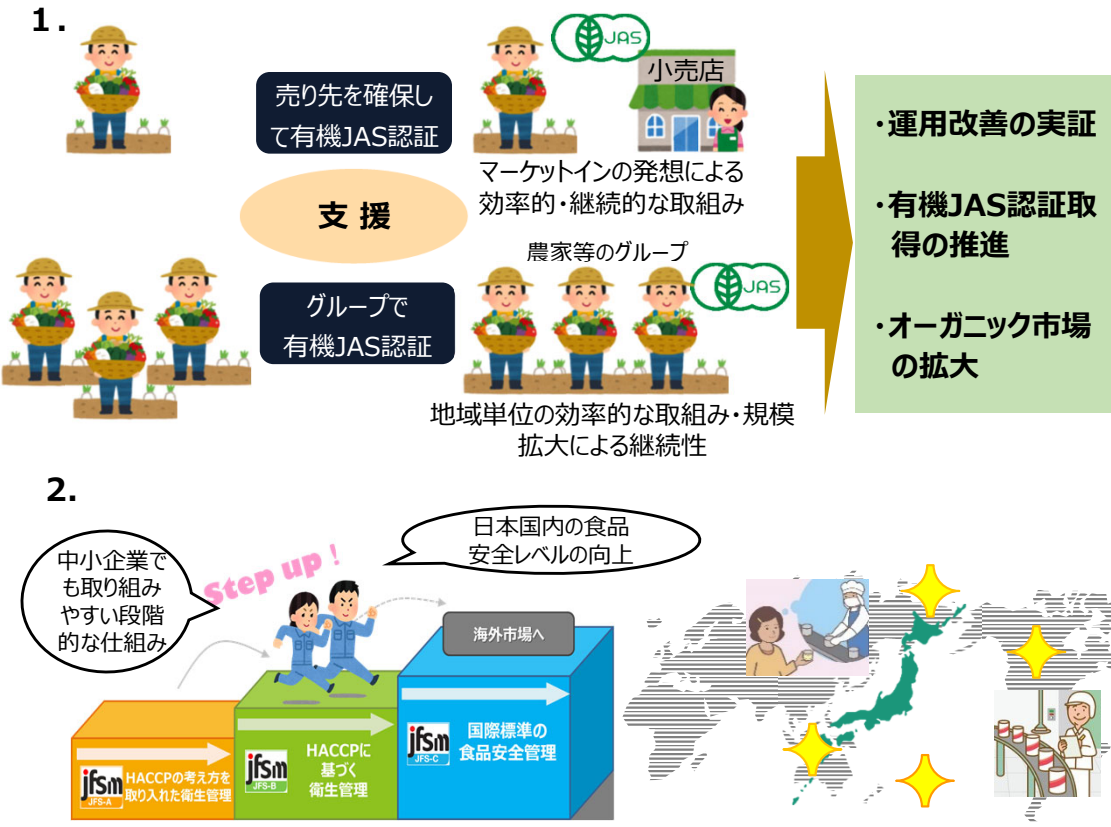
① JFS規格の取得促進に向けたモデル実証及び情報発信への支援

国内外の食品安全レベルの向上及び輸出に向けて中小事業者が段階的に食品安全に取り組むことができるよう、食品工場等における**JFS規格のモデル的認証取得**を支援するとともに、規格・認証等の効果的な普及のため、**セミナーの開催等、情報発信の取組**を支援する。

② リモート監査システム構築に向けた取組への支援

食品工場等におけるJFS規格の取得促進のため、新型コロナウイルス感染の拡大を契機に必要性の高まっているICTを用いた**JFS規格におけるリモート監査導入**に向けた**取組**を支援します。

<事業イメージ>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 (1の事業) 大臣官房新事業・食品産業部食品製造課基準認証室 (03-6744-7182)
 (2の事業) 大臣官房新事業・食品産業部食品製造課食品企業行動室 (03-3502-5743)